

雪の季節を迎えました。予報では、冬の訪れが早く、大雪のおそれがあるとのこと。市では、雪害予防計画を立て、万全の除排雪体制を組んでいます。地区での説明会を十一月二十二日から二十五日にかけて開催し、今後の計画について市民の皆さんから協力していただきたい点を、強くお願いしています。除排雪体制をフルに発揮するためにも、どうしても皆さんの協力がが必要です。みんなで力を合わせ、雪を克服していきましょう。

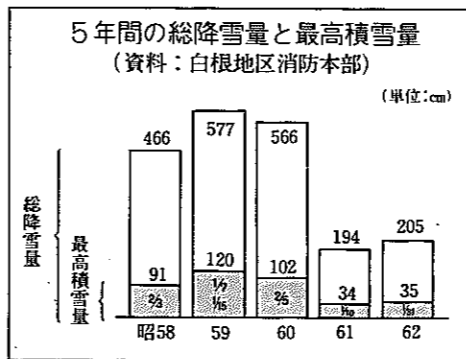


雪の備え万全

足の確保に市道の82・3%を除雪

本年度の雪害予防計画によると、市が除雪する道路の延長は二百六十六・一キロメートルで、昨年より九・八キロメートル増えています。市道などの総延長が三百二十三・三キロメートルですので、全体の八二・三%が除雪計画路線になりました。

除雪作業は、雪の降り方によって異なりますが、通勤、通学などの車の交通量や道路構造をじゅうぶ



除雪作業機械の整備も万全です

効率的な除雪にご協力ください

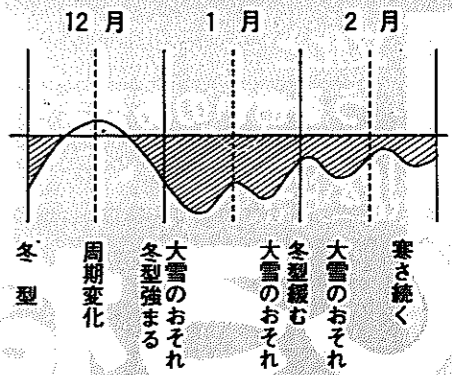
北陸地方3か月予報

～降雪量は平年より多く 大雪のおそれ～

- ▷12月 月半ばには穏やかな日もありますが、その後は冬型の気圧配置が強まり雪の日が多くなるでしょう。後半から本格的な寒気が入る見込みです。
- ▷1月 冬型の気圧配置が強まり、大雪のおそれがあります。
- ▷2月 引き続き平年に比べ寒い日が多く、大雪のおそれがあります。

この期間の降雪量はいずれの月も平年より多くなる見込みで、降雪量・最深積雪とも平年より多くなるでしょう。

おおよその経過

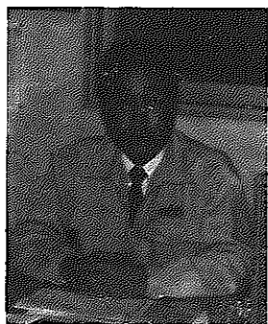


(11月21日 新潟地方気象台発表)

除雪を担当する私からのお願い

佐藤克己さん

(山路興野・四十三歳)



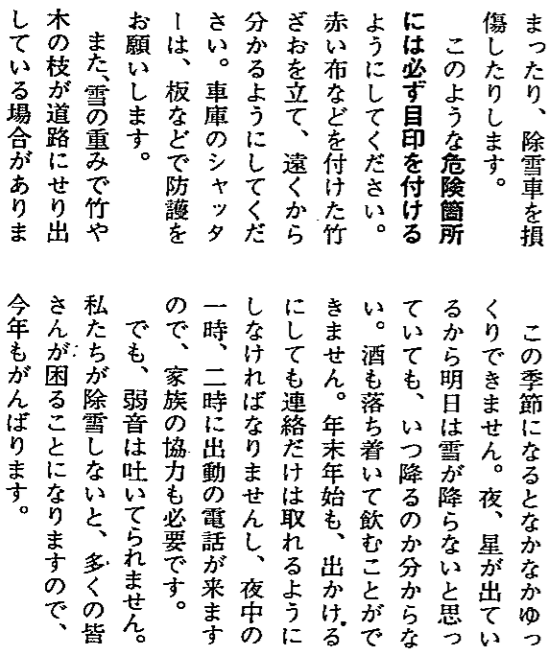
市から除雪の委託を受けて十四年目になります。

除雪をしていて困るのは、まず駐車・放置車両がある場合ですね。道路上に車が一台でもあると、それまでせっかきれいに除雪して来たのに、車の周りを避けなければなりませんし、狭い道路ではそこから先は除雪できません。たまた一台の車のために付近の皆さん全員が迷惑することになります。昼夜を問わず、路上駐車・路上放置は絶対にしないでください。

次に、道路ぎわの塀や突起物などが雪に埋まっていると、除雪車が壊してしまったり、除雪車を損傷したりします。

このような危険箇所には必ず目印を付けるようにしてください。赤い布などを付けた竹ざおを立て、遠くから分かるようにしてください。車庫のシャッターは、板などで防護をお願いします。

また、雪の重みで竹や木の枝が道路にせり出している場合があります。



この季節になるとなかなかゆっくりできません。夜、星が出てくるから明日は雪が降らないと思っ

ていても、いつ降るのか分からない。酒も落ちて飲んで飲むことができません。年末年始も、出かけるにしても連絡だけは取れるようにしなければなりませんし、夜中の一時、二時に出動の電話が来ますので、家族の協力も必要です。

でも、弱音は吐いてられません。私たちが除雪しないと、多くの皆さんが困ることになりますので、今年もがんばります。

市からのお願い

除雪した道路に雪を出さないで

せっかきれいに除雪した道路に、雪を投げ出す人がいますが、歩行者が通りにくくなったり、車のスリップの原因になったりして、たいへん危険です。除雪のため玄関口などをふさいだ雪は、それぞれのご家庭で玄関口に積むなどして処理をお願いします。

屋根の雪おろしは町内で一斉に

屋根の雪おろしは、町内会長や部落長と相談して一斉に行ってください。単独するときには、交通の妨げにならないように行い、道路上へ投げた雪は各自で処理をしてください。

トイレ・尿の収集

雪のため、ゴミ収集車が通れない区域は、運行が可能なまままで自宅で保管しておいてください。

また、し尿のくみ取り口付近の除雪もお願いします。

消火栓付近の除雪に協力を

年末はし尿のくみ取りの申し込みが殺到します。業者へは早めに申し込みましょう。

大雪になると、消火活動への支障が心配されます。消防署や消防団でも消火栓、防火水槽の除雪に努めますが、皆さんのご協力をお願いします。いざというときに備え、家庭では二か所以上の避難口を確保しておいてください。

マンホールのふたを開けないで

都市下水路の西幹線と東幹線排水路は、マンホールになっています。排雪のため「ふた」を開けると、歩行者が転落し、死亡事故につながるおそれがあります。絶対に開けないでください。

消雪パイプの運転休止時間帯

午後二時から三時まで、午後四時から五時まで、消雪パイプの運転が休止されます。